

環境・経済・福祉の調和を目指した食品廃棄物の地域内循環サービスの展開

—有機性廃棄物分解機能—

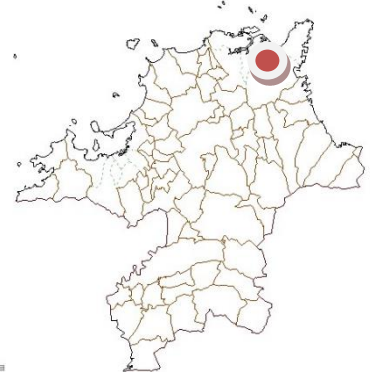
楽しい株式会社（現：株式会社ウエルクリエイト）



循環型システムを普及している「楽しい株式会社」

自治体、外食産業、スーパーなどで発生する食品残渣を堆肥化施設で堆肥化し、堆肥を使用して生産した農産物を再びスーパーなどで販売する「循環サイクル」について、卸売市場や地域レベル（外食産業、自治体、マンション等）で運用をしている。

また、使用済み竹箸を竹炭化し、竹炭を堆肥化施設で微生物着床の資材として再活用している。



きたきゅうしゅう 福岡県北九州市



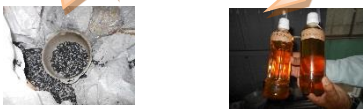
〔有機性廃棄物分解、気候緩和〕

生ゴミを循環サイクルの中で、堆肥化して農地に還元することは、農地が持つ有機性廃棄物分解機能の発揮につながるとともに、食品残渣を農地に還元することで、生ゴミの量と処理コストを低減し、CO₂削減にも貢献している。

また、廃棄物とバイオマスの新資源化システムにも取り組み、各自治体が考案した「バイオスタウン」構想を支援している。

〔医療・介護・福祉〕

使用済み竹箸の竹炭化は、全国 10 カ所の障がい者福祉施設などで炭焼きしており、できた竹炭は堆肥リサイクルセンターで活用している。「農」とのつながりは間接的であるが、炭焼きを通じて障害者の方々の社会参加を推進している。



廃プラスチックを接触分解油化技術で生成された油

【令和2年度更新】

